

新型コロナウイルス感染症の発生に備える研修会の事後アンケートのQ&A

	質問	回答
1	ひざ下、足元の防護対策は具体的にあるのか。	<p>A:あります。</p> <p>ひざ下、足元をカバーすればいいのです。 それは、つまり、スーツ型の防護服やシューカバーを使うということです。 ユニフォームのひざ下にアルコールをスプレーする姿を散見しますが 消毒効果の不完全、かつ引火性や吸入毒性の問題で推奨しません。</p> <p>第1種感染症指定医療機関の感染症病棟の職員には、 危険度の高い病原体(1類感染症など)への対策として、防護服やシューカバーを用いた着脱訓練をします。 日ごろから感染対策のトレーニングを受けている人ならば、防護服やシューカバーを使うのは有効だと思います。 しかしながら、介護現場における感染対策としてはお勧めしません。 なぜかという、着脱テクニックが徹底されず、反って、手指やユニフォームを汚染してしまい、感染リスクが増えるからです。 また、シューカバーや防護具を着用した状態で、介護の仕事を行うのはかなりストレスフルです。 よって、介護現場では勤務中に足元に手を伸ばさないということを基本ルールとして仕事をしていただき 足元～ひざ下に触れた場合には手を消毒するということを徹底していただくのが現実的です。 実際にクラスターが発生した施設においた事例として、介護・看護職員の防護具として防護服やシューカバーは用いませんでしたが、 感染者は一人もいません。 使用したのは、N95マスク、アイシールド、ガウン、キャップ、(手袋)です 侵入門戸をしっかり防護し、手指を消毒すれば、新型コロナウイルスはそう簡単に感染するものではないと考えています。</p> <p>余談ですが、休憩室に畳やじゅうたんが張ってあり床に座る様式になっていることは感染対策上は望ましくありません。 これは、靴の着脱時に手が汚染したり、ユニフォームのひざ下についたウイルスが畳やカーペットに付着し、 これを介して手が汚染する可能性があります。休憩室は、床にすわらず食事はテーブルと椅子にした方がリスクが減少します。</p>
2	KN95はN95と同様の予防ができるか。	<p>A:できません。</p> <p>以下参考URL KN95等の不良品マスクを見分ける方法について 一般社団法人 職業感染制御研究会HP URL http://jrgoicp.umin.ac.jp/index_ppewg_respirator_defective.html</p>
3	ゴーグルの代用品としてアイシールドの使用は可能か。	<p>A:できます。 感染対策上は眼粘膜をシールドするものという点で同類品と考えます。</p>